

# 優秀体育人に延べ525人(上)

## 市スポーツ協会 24年受賞者決まる

市スポーツ協会(本間敏博会長)による2024年の優秀体育人表彰が決まった。全国規模で上位成績を残した優秀競技者賞、北信越や県レベルで優れた結果を出した競技者賞などに個人・団体延べ525人が選ばれた。

優秀競技者賞には昨夏の全国JOCジュニアオリンピックカップ水泳競技で優勝した小山風香さん(翔洋6年)ら15個人団体が選ばれた。また同協会の加盟団体ではないが、顕著な活躍が認められたとして、昨夏の甲子園に出場した産附がスポーツ特別賞に選出された。受賞者の表彰式は11日にアルフォーレで行われる。受賞者は次の通り(かっこ内は所属)。

- 【優秀競技者賞】**
- 陸上▽鬼山結翔(刈羽中)
  - U16大会男子棒高跳び6位
  - 競泳▽歌代咲彩(二中)
  - 全中女子1000m自由形8位▽小山風香(翔洋)
  - JOCジュニアオリンピック夏季大会C区区分女
- 子1000m・2000m平泳ぎ1位など▽吉田愛璃(翔洋) 国民スポーツ大会少年女子4000mフリーリレー8位▽池田咲那(産附)
- 水球▽アルボンK男子(棚村克行、西郷やまこ、稲場航平、高田勇希、前野考紀、野田一成、平田一成、林和希、新田一景、稲場悠介、石山真吾、眞板悠貴、小椋裕介、志水祐介) 日本選手権2位▽アルボンK Z・U17女子(樋口真彩、平木空音、中井美耶、下出美紅、武石絢羽、長門郁樹、駒野未侑、竹内乃映、武田明利、三宮奏菜、田辺佳澄) 全日本ジュニア選手権4位▽アルボンK女子(宮川華音、梅村香穂、飛鳥井真生、前野美月、朴正殿、小出未来、長谷川陽子、長谷川雛子、高田いつみ、新藤沙砂、栗林陽華、藤野凛、下出美紅、王詠戀) 日本選手権5位▽新潟県女子(宮川華音、梅村香穂、飛鳥井真生、前野美月、小出未来、長谷川陽子、長谷川雛子、新藤沙砂、栗林陽華)
- 国民スポーツ大会5位 卓球▽倉又夢歩・山岸駿(産附) インターハイ男子ダブルス5位▽新潟県女子(山岸唯菜、山岸愛菜、佐藤野々華) 国民スポーツ大会少年女子団体5位
- バドミントン▽阿部和武・中嶋優羽(柏崎ジュニア) 全国小学生選手権男子ダブルス6年生以下3位など 剣道▽大西伸和(柏崎剣道連盟) 全日本居合道大会個人7段の部1位
- ライフセービング▽新潟県産大(シュ・シャンエン、パク・ソンスン、掛川航貴、米山昇平) 全日本学生選手権男子レスキューチーム プレスキュー6位
- 空道▽藤代天(柏崎空道協会) 全日本ジュニア選手権U16・48級4位
- 【競技者賞】**
- 陸上▽池田健人(柏崎T&F) 県小学生選手権3年男子1000m▽小山咲織(柏崎T&F) 同女子1000m▽土由未来(刈羽中) 北信越中学校総合競技大会男子棒高跳び3位▽須賀理央(三中) 同女子2000m▽3位▽酒井粟菜(二中) 県中学校競技大会女子砲丸投げ1位▽片山航祐(産附) 県高校選抜大会男子棒高跳び1位▽関秋司(産附) 同男子砲丸投げ1位▽米山章之介(産附) 北信越高校新人大会男子2000m▽3位▽阿部奈々(産附) 同女子内盤投げ2位▽田中優奈(翔洋) 同女子1500m▽2位など▽田辺琉輝(産附)

- 学生対校選手権男子走り幅跳び3位
- 競泳▽吉田心咲(翔洋) 北信越中学校総合競技大会女子1000mバタフライ2位▽三井聖聖(翔洋) 県高校選手権男子1000m平泳ぎ2位▽池田咲那(産附) 北信越高校選手権女子1000mバタフライ2位
- なご▽翔洋女子小山風香、吉田愛璃、田村心、牧口夢恋 県高校選手権女子4000mリレー2位など
- 野球▽柏崎STARS (佐藤煌大、大沼龍幸、白川佑稀、徳永篤人、伊東新、小原侑真、大塚瑠希哉、中村皇世、押味蒼大、本間立輝、山田成流、村山蒼馬、高橋昭、永井結、遠藤暖、佐藤翔太、桑原周、布施龍馬) 県スポーツ少年団軟式野球大会3位▽柏崎信用金庫(佐藤尚孝、長谷川翔、村山拓美、押見貴哉、長澤将樹、中村進太、鬼山正美、吉川新、池原溜河、小野塚翔空、前澤一步、廣川功一、中村眞輝、細山広希、山田和樹、吉田勝、金子大翔、武本大輝、小田悠平、石塚新一、伊部真純、霜田雄大) 県知事杯争奪軟式野球大会2位▽柏崎市役所(村山博、堀田雄大、廣田朗大、池田和紀、橋爪大輔、村山大地、木戸諒太、田村大、大橋巧、木戸拓生、鈴木健太郎、沖山一樹、清水拓真、須田崇仁、遠藤龍一、中西達也、山田大翔、大橋寛、前澤颯太、渡辺莉央) 天皇賜杯全日本軟式野球大会県予選会3位▽オール柏崎(細山広希、村山諒太、木戸諒太、鈴木健太郎、堀田雄大、池田和紀、村山大地、五十嵐一樹、田村尚之、中村眞輝、小林寛之、須田崇仁、竹内琥太郎、大矢歩夢、町田航輝、遠藤龍一、山田和樹、沖山一樹、小田悠平、秋山蓮矢、金子大翔、鈴木秀和) 県都市対抗軟式野球大会1位▽柏崎リトルシニア(五十嵐颯、桑原人和、蒼原愛吉夢、土田謙、春日勇誠、柳陽貴、椎谷泰太、磯部海星、藤本健介、星野琳青、小原颯斗、関夢希斗、杉田獅門、江部颯汰、江尻士真、富田玲将、摩山太陽、堀颯人、徳永健人) 少年硬式野球フレッシュマン大会2位
- バレーボール▽刈羽JVC(本間凜心、伊佐蒼空、加藤優愛、内山花乃、大澤真歩、八幡実琴、神林聖菜、今井萌々香、常山咲希、小黒紗代、水品桃香、今井菜々) 県小学生真大会女子3位



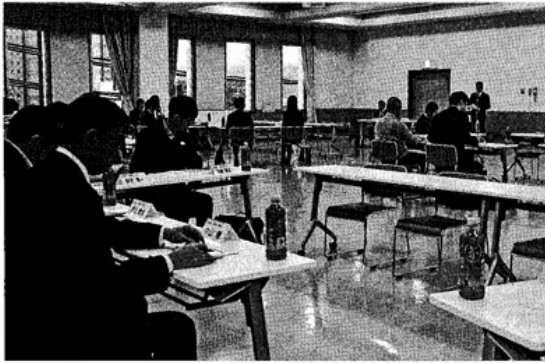
# 第6次総

# 策定に向け分科会始動

# 委員30人 5分野別に

いく。

市が本年度から9年で取り組む第6次総合計画基本構想・前期基本計画の策定に向け、審議会分科会が始動した。五の分科会委員は総勢30人。策定に当たっての基本的な方針、今後のスケジュールなどを確認した。既に審議会の会合は先行して始まっており、官民連携の全庁態勢を進めて



第6次総合計画基本構想・前期基本計画の策定に向け、審議会分科会の第1回会合（雁文会館大ホール）

環境「産業・エネルギー」

な5分野からなる。基本計画の検討・意見集約を行い、分科会を経た基本計画案を審議会に諮るとい

役割を持つ。第1回会合は1月20日、雁文会館で行

冒頭のあいさつで、樋口

秀・審議会長（新潟工科大

教授）は「多方面の審議に

なると思うが、柏崎市が輝

き、よそから見えていい町

のたと言ってもらえるよう

な計画になるといい。市民

アンケートでは6割が柏崎

に満足している結果だが、

2割強は不満も多いことが

読み取れる。柏崎にとがっ

た部分があってもいいと思

う、よそから見られたとき

に光るようなアイデアがあ

ってもいい。皆さんの意見を

を含め、行政に送付したい」と述べた。  
引き続き、事務局が策定の基本的な方針を説明。総合計画と第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略を一体化することで、市民に分かりやすい効果的な施策展開を行うこと、現行の計画にある「魅力・文化」分野を他分野に移行し、5分野とするなど、案を挙げた。

また市民アンケート、市民ワークショップの概要も報告された。

会合を締めくくって、市長代理の柴野副市長は「人口減少・少子高齢化への対策を考えるときに、今、私たちが普段困っていること

いっことを出して、その課題の解決を図っていくことが、結果として、住んでみたいまちにつながる。身近

な生活から急務（きたん）のない意見をいただきたい」と協力を求めた。

分科会の会長は次の人たち。かっこ内は所属。

生活・安全・環境 川富永禎秀（新潟工科大教授）▽

産業・エネルギー 長瀬博（アック長瀬専務取締役）

▽子育て・健康・福祉 池嶋聖也（新潟県大）▽教育

・スポーツ・文化 中村豊（学識経験者）▽住民自治

・行政 中山徹（かしわざき振興財団専務理事）

# 「柏崎の研究」発表17日

## 工大と産大 若い視点・発想 商議所で

柏崎商工会議所総合建設部会（阿部尚義部会長）が17日午後5時半から、新潟工大、新潟産大の学生による「柏崎に関する研究発表会」を開く。会場の同商議所またはオンラインで視聴できる。主催はほかに県建設業協会柏崎支部、柏崎建設業協同組合。視聴無料。

発表会は、柏崎の二つの大学で勉学に励む学生が、柏崎に関するテーマを中心に研究した成果を報告する場として親しまれる。本年度で2回目。「柏崎をより住みよい街に」「柏崎を活性化させるために」のテーマで、若い学生ならではの視点・発想から提案してもらう。また柏崎の未来を考える上でのヒントも期待される。終了は7時。

会場視聴（商議所大研修室）は定員30人。オンライン視聴（Zoom利用）は定員80人、いずれも先着順。申し込みは13日までに所定の申込用紙で、会場視聴の希望はファクスまたは電子メールで、オンライン視聴の希望は原則電子メールで、商議所中小企業相談所

（電話22・3161、ファクス22・3570、電子メールendo@kashiwaza-kcci.or.jp）へ。

研究発表は次の通り。

【工大】きおん柏崎まつりにおける「なる」和賀参加団体の現状と参加継続の要因Ⅱ佐藤岳士▽データ分析で柏崎のものづくり企業を盛り上げるⅡ本藤貴都▽柏崎平野における表層地盤の地震時揺れやすさマップⅡ高橋駿吾、中村拓海▽ABLの観点から見た柏崎市内における高校生の勉強場所の実態と分析Ⅱ山口

晴也、以上工学科4年

【産大】風輪通貨の流通と地域通貨ゲームⅡ経済経営学科3年・嘉村起伸、鈴木斗真▽自然農法へのチャレンジと耕作放棄地での植林活動Ⅱ文化経済学科3年・小林麒太郎、西澤心朗▽学生によるスマホ教室及

（および、柏崎市A1新交通あいくるのPR活動Ⅱ同4年・岸田尚也、佐藤凜紗▽地域活動を通しての4年間の軌跡Ⅱ経済経営学科4年・本間才揮

【2大学共同発表】「社会課題解決型ハッカソン」への取り組み

# 市教育委員会表彰 (下)

【体育関係】続き▼中学  
生▽酒井真来(二中3年)  
第55回新潟県中学校総合  
体育大会陸上競技女子砲丸  
投1位▽長岡 Joias  
(池田彩夏、小関美桜、小  
暮咲絆)▽JFA第15回全  
日本U-15女子フットサル  
選手権大会北信越大会優勝  
▽長岡JYFC(選藤琉加、  
猪爪颯介、柴野広夢、永井  
楓大)▽JFA第30回全日  
本U-15フットサル選手権  
大会北信越大会優勝▽近藤  
蘭(極真館新潟県支部柏崎  
道場)▽2024春季全日  
本空手道選手権大会中学1  
年女子軽量級の部3位▽吉  
田心咲(翔洋2年)▽第55  
回新潟県中学校総合体育大  
会水泳競技女子100mハ  
タフライ1位▽歌代咲彩  
(二中2年)▽第45回北信  
越中学校総合競技大会水泳  
競技女子50m自由形2位▽  
藤代奏(柏崎空道協会)▽  
2024全日本空道ジュニ  
ア選手権大会関東予選U16

男子58歳以下1位▽藤代天  
(同)▽同大会U16男子48  
歳以下4位▽須自理央(三  
中3年)▽第45回北信越中  
学校総合競技大会陸上競技  
女子200m3位▽小池健  
大(柏崎ジュニア)▽JJO  
Cジュニアオリシビックカ  
ップ第43回全日本ジュニア  
パドミントン選手権大会第  
25回新潟県予選会男子シ  
ングル1位▽アルボンウオ  
ーターボロクラブ柏崎(真  
貝夏帆、駒野未侑、三宮奏  
菜、竹内乃映、武田明莉、  
三宮ほのか、入澤瑠音、吉  
田彩柑)▽第36回北信越シ  
ュニア夏季水球競技大会兼  
第47回全国JOCジュニア  
オリシビックカップ夏季水  
泳競技大会予選会C区分2  
位▽高校生▽山田果林(日  
本体育大1年、大会当時は  
アルボンウオーターボロク  
ラブ柏崎所属)▽第11回U  
17アジアエイシクループ選  
手権「水球」女子1位(U  
17日本代表)▽アルボンウ

オーターボロクラブ柏崎  
(樋口真彩、平木青空、中  
井茉莉、下出美紅、武石絢  
羽、長門郁樹、駒野未侑、  
竹内乃映、武田明莉、三宮  
奏菜、田辺佳穂)▽第10回  
全日本ジュニア(U17)水  
球競技選手権大会女子4位  
▽神田大雅(極真館新潟県  
支部柏崎道場)▽2024  
春季全日本空手道選手権大  
会高校生男子型の部1位▽  
小山風香(翔洋6年)▽2  
024年度北信越高等学校  
体育大会第57回北信越高等  
学校選手権水泳競技大会兼  
第92回日本高等学校選手権  
水泳競技大会予選会女子1  
00m平泳ぎ1位▽池田咲  
那(産附3年)▽同大会女  
子100mハタフライ2位  
▽佐藤陽生、桑原せん、品  
田大壽以上産附3年、長  
門玄城(翔洋6年)、齋藤  
秀吉(産附3年)、小出結  
翔(同2年)、水野航(同  
1年)、小笠原優樹(柏高  
1年)、栗林英大(同)、

中村有吾(翔洋4年)▽2  
024年度北信越高等学校  
体育大会第57回北信越高等  
学校選手権水泳競技大会兼  
第92回日本高等学校選手権  
水泳競技大会予選会「水球」  
2位▽倉又夢歩(産附3  
年)、山岸駿(同2年)▽  
2024年度全国高等学校  
総合体育大会卓球競技大会  
第93回全国高等学校卓球選  
手権大会男子ダブルス5位  
▽小山風香(翔洋6年)、  
池田咲那(産附3年)▽第  
78回国民スポーツ大会水泳  
競技・競泳少年女子A4×  
100mメドレーリレー8  
位▽吉田愛璃(翔洋6年)  
▽同大会水泳競技・競泳少  
年女子A4×100mフリ  
ーリレー8位▽米山竜之介  
(産附2年)▽第29回北信  
越高等学校新人陸上競技大  
会男子200m3位▽阿部  
奈々(同)▽同大会女子内  
競投2位▽田中優奈(翔洋  
4年)▽同大会女子150  
0m2位▽田辺琉輝(産附  
3年)▽2024年度北信  
越高等学校体育大会第63回  
北信越高等学校陸上競技対  
校選手権大会兼秩父宮賜杯

第77回全国高等学校陸上競  
技対校選手権大会北信越地  
区予選会男子内競投1位▽  
中川結太(同)▽同大会男  
子400m障害2位▽産附  
・中川結太(3年)、米山  
竜之介(2年)、川上瑠盛  
(3年)、井口陽向(同)  
▽同大会男子4×400mリ  
レー2位▽産附・倉又夢  
歩(3年)、佐藤那樹(同)、  
山岸駿、吉田蓮、小林侑立  
高橋凌太郎、佐山颯大以  
上2年)▽2024年度北信  
越高等学校体育大会卓球競  
技兼第64回北信越高等學校  
対抗卓球選手権大会男子学  
校対抗2位▽産附・山岸唯  
華、山岸愛菜、佐藤野々華  
渋谷真央、多田穂乃香以  
上3年、白石莉子(1年)、  
星野七菜(同)▽同大会女  
子学校対抗2位▽山岸駿  
(産附2年)▽同大会男子  
シングルス3位▽佐藤野々  
華(同3年)▽同大会女子  
シングルス2位▽佐藤野々  
華(同)、山岸唯華(同)  
▽同大会女子ダブルス3位  
▽山岸唯華(同)▽202  
4WITユースコンテナ  
ーバンコクU9女子シング

ル3位▽山岸唯華、山岸  
愛菜、佐藤野々華以上産  
附3年)▽第78回国民スポ  
ーツ大会卓球競技少年女子5  
位▽山崎さくら(柏崎ライ  
フセービングクラブ)▽第  
5回全日本ユースライフェ  
ービング選手権大会「フ  
ービング」U15女子ライнс  
ロー(10位)3位▽柏崎ラ  
イフセービングクラブ(吉  
田千柚、山崎さくら、佐藤  
絢羽)▽第16回全日本ユ  
ースライフェービング選手権  
大会U18女子レスキューチ  
ュープレスキュー5位▽行  
田弦士(柏13年)▽20  
24年度北信越高等学校総  
合体育大会第56回北信越高  
等学校自転車競技選手権大  
会兼第69回全国高等学校  
自転車競技選手権大会予選  
会男子個人ロードレース2  
位▽柏崎常盤・池田愛菜、  
若杉莉亜、荒張大良、平野  
心優以上3年、坂巻結花  
(2年)、平田渥愛(同)、今  
井優里(1年)▽2024年  
度北信越高等学校体育大会  
第32回北信越高等学校な  
なな競技選手権大会団体の  
部3位▽平野心優(柏崎常  
盤3年)▽同大会個人の部  
3位▽池田愛菜(同)、若杉  
莉亜(同)▽同大会演技の

部3位▽若杉莉亜(同)、  
平野心優(同)▽第45回北  
信越国民スポーツ大会なな  
なな競技少年女子3位▽一  
般▽棚村亮行、新田一景、  
稲場悠介(アルボンウオ  
ーターボロクラブ柏崎(社会  
人))▽第33回オリシビック  
競技大会水球男子日本代表  
▽大西伸和(柏崎剣道連盟  
(社会人))▽第59回全日  
本居合道大会七段の部1位  
【感謝状】今井正舟(市  
展運営委員長、正舟書道会  
会長)▽1994年から柏  
崎刈羽小中学校書初席書大  
会開催。2010年から市  
展運営委員等を歴任、24年  
から運営委員長▽関矢政明  
(市スポーツ推進委員協議  
会)▽市スポーツ推進委員  
在任15年▽田村謙治(同)  
▽同

### 大学生企画で 多彩に楽しく 冬フェスにきわむ

冬フェスにきわむ  
大学生が地域の人と柏崎の冬を盛り上げるフェスティバルが市内西本町3の市民活動センター「まちから」で開かれた。家族連れら大勢でにぎわった。同フェスは「まちから研

究室@新潟産大」の主催で、今年で4回目。「柏崎の冬を若者の力で盛り上げ隊」をキャッチフレーズに、9日に行われた。産大学生会や書道部、写真部、地域の企業・団体などの体験ブース、キッズダンスの発表、飲食販売などもあった。家族で訪れた市内松葉1の山本洋輔さん(34)は「冬場のイベントが少なく楽し



家族連れら大勢が訪れた産大生らによる冬のフェスティバル＝市内西本町3のまちから

める。大学の活動の様子も分かったと言い、長男のツズダンスが楽しい」と笑

顔。  
型抜きをした鯉波2の年長児・柗堀一斗ちゃんは「上手にでき、大学生から褒めてもらえてうれしかった」とこ機嫌。母親の佳備さん(46)は「子どもが体験できるブースが多く、すごくいい。学生の姿が見られ、柏崎の元気を感ずる」と話した。  
イベントの総括で権田ゼミの同大4年・岸田尚也さんは「昨年暮れから会場の手配、出展者の調整に苦勞したが、たくさんから来場してもらえた。毎年恒例の行事として、柏崎の盛り上がりには貢献できていると思う。大学の活動を知ってもらえたり、還元できたりする機会になった。社会人になっても、この経験を生かしたい」と達成感をにじませた。

# 「新潟産業大学」 地域に学ぶ 地域を学ぶ

— 実践活動レポート —

## 地域活動を通じ 県内学生が交流

昨年末の12月7日、新潟大学中央図書館ライブラリーホールにて、新潟地域連携コミュニティ主催「地域活動・学生発表交流会」が開催された。当初は文部科学省COC十事業として2018年度に開始、事業終了後も新潟大学を中心に活動を継続してきた。今回は県内大学生19チームがプレゼンとポスターセッションで交流を深めた。本学

からは4チームが参加し、各ゼミナールの個性・専門性を発揮した調査研究、地域活動の成果を発表した。

文化経済学科4年の佐藤胆紗さんは交流会の運営メンバーとして、当日は全体の司会進行も務めた。「他大学の活動を聞いたり、ゼミの活動を学外の方に伝えたりといった機会は少ないので、とても新鮮な経験だった。また、年間を通じて運営メンバーや進行として会に関わられたことをうれしく感じ」と

振り返る。

交流会では他にもオンラインでの「講演&おしゃべり会」を年2回開催。11月に講演していただいた玉橋尚和さんは、新潟産業大学附属高校のOBで、自衛隊、総務省等を経て、現在は全国の自治体の組織・地域づくりを支援する活動を行っている。高校時代を柏崎で過ごした方が活躍する姿に触れ、参加学生らは大いに刺激を受けた。

この交流会は学外での大きな発表のステージであったと同時に、新型コロナウイルス禍に導入されたオンラインでの交流を通じて、毎年、複数の産大生が運営メンバーを務め、彼らの大きな自信につながった。新年度か

らは運営体制が変更される予定であり、そこでのような関わり方ができるのか未知数ではあるが、交流会を通じて学んだ県内学生の横のつながりという視点を今後の地

域活動にも活(い)かしていきたい。  
経済学部准教授、地域連携センター長・権田恭子  
（同大学地域連携センタ



# 熱いプレゼン 事業資金獲得

## 市内で初めて 「マネーの龍」

プレゼンをして事業資金を獲得する「マネーの龍」ドラゴンファンディング」が産文会館で開かれた。挑戦者6人の発表に、審査員が金額で応え、各事業の成功に大きな期待を寄せた。

このイベントは県農業種交流センター（NIKS）、長岡市）が主催する地域活性化助成金交付事業。県内各地で3年前から開か



れ、6回目。NIKs会員企業や一般などの地域貢献活動や新規事業・起業を応援し、地域活性化と経済振興を目指す。

市内では初めての開催で、柏崎商工会議所、柏崎信用金庫、柏崎青年会議所、商議所青年部が協力。1次書類審査には過去最多の22社・人がエントリー。先月下旬に最終審査が行われた。

登壇者は、ドラの音を合図に7分間のプレゼンに挑んだ。観客も声援や応援ホールドなどで後押しし、熱量

壇上に立った時に夫や従業員の声援が聞こえ、楽しんでできた」と満面の笑顔。「この資金で準備を加速していく覚悟で、その責任も強く感じている。柏崎を盛り上げるために、全力で取り組んでいきたい」と強く誓った。

NIKsの鷲尾達雄・副理事長(58)は「全員がプレゼンを時間内に取めたのは初めて。皆さんがしっかり準備をしてきたことの表れだ。地域活性化のエネルギーも感じ、柏崎で定例開催ができればいい」と高く評価した。

このほかの挑戦者、事業内容、希望額↓獲得額は次の通り

- ▽除雪MAXS（上田 房、久我佐登社長）Ⅱ「重機の学校出前体験会を行い、オペレーター育成と歩道除雪の拡充」、110万円↓11万円
- ▽ドッグサロンMOCO（柳橋町、小奈美希代表）Ⅱ「市内で気軽に安心して預けられる、併設ペットホテル開業」、60万円↓23万円

- ▽AKKプラス（田塚3、加藤賢汰さん）Ⅱ「工場でのeスポーツ大会開催で、事業所の認知度向上と新卒応募者数増」、50万円↓10万円
- ▽市シルバー人材センター（田塚3、高橋夢彦主任）Ⅱ古いビニールハウスを改修し、多くの居場所となる農場作り」、35万円↓7万円
- ▽クライミングジム&カフェ「PARKS」（茨目3、羽田正信代表）Ⅱ「移動式ウォールを制作し、貸し出しや部活動地域移行の一助に」、50万円↓24万円



# 地元企業の課題 解決を

## 翔洋 3年生が校内発表会



柏崎翔洋（外山徹宏校長）の3年生53人は14日、総合学習で取り組んだ地域活性化案の校内発表会を行った。市内4事業所から依頼された困りごとの解決に向け、オリジナリティーあふれるアイデアを次々と発表

した。同校3年生は例年、総合学習の一環として、柏崎青年会議所の協力を得ながら地元企業の課題を解決するアイデアを考えて発表している。今年は初めて新潟県大の権田ゼミの学生とも協

力して意見を交わしながら

構想を深め、各事業所へアイデアを売り込むコンペティション形式で実施した。課題解決を依頼したのはタナベスタジオ（面田氏）、山忠鯨波foodbase（鯨波）、いろは製菓所（東本町）、マリアカフェ（同）の4事業所。生徒たちは工夫を凝らしたプレゼンテーションでアイデアを発表し、それぞれの課題から各1班が採用案として選

出された。このうち、タナベスタジオの課題解決案に選出された3班は、新たなサービスに「写真とメッセージを入れたタイムカプセル」「童話をモチーフにしたストーリー写真」などを提案。班長の坂田有生さんは

「スライドや実物見本など工夫を凝らしたプレゼンで各企業の課題解決案を発表する生徒たち」14日、柏崎翔洋

「自分たちが子どもの頃にやりたかったことを取り入れた」と話した。またマリアカフェから「物価高騰に対応した新メニュー作り」の課題に取り組んだ10班は、 HALF & HALF ピザ、アサリと海苔（のり）のリゾット、のびるチーズの3種を提案。班長の桑原憲吾は「既存メニューの材料を使うことで、コストとフードロスを抑えられるように工夫した」と話した。

長は「社会に入ると、嫌でもコストについても意識しなくてはならなくなる。学生のうちにこうした経験を、して勉強を深めてほしい」、マリアカフェの柴野浩子店長は「お店の客層に少ない中学生の声を聞けるのは大変貴重な機会だった。すぐにでも採用できそうなメニューがたくさんで素晴らしい」と講評した。

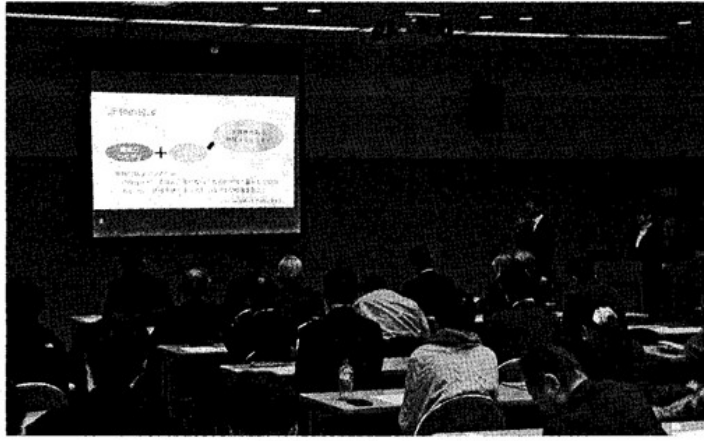
4事業所の活性化案として選出された4グループは、27日に行われる県内中等教育学校6校によるオンライン発表会に臨む。

# 「柏崎の研究」に9テーマ

## 工科大と 産大生 若い発想、視点で

### 秀最「スマホ教室と地域福祉」

柏崎商工会議所総合建設部会（阿部尚義部会長）の「柏崎に関する研究発表会」が同商議所で行われ、オンライン視聴と合わせ、約70人が参加した。新潟工科大、新潟産大の学生が若い発想、視点で発表した。審査の結果、AI新交通



「あいくる」利用促進のため、高齢者にスマホ教室を開き、地域福祉の一翼を担った経験をまとめた新潟産大文化経済学科4年・岸田尚也さん、同・佐藤風紗さんが最優秀賞に選ばれた。発表会は、二つの大学の

学生が見た柏崎のまちや地域の活性化、これまで取り組んだ研究を発表する場として親しまれる。23回目の本年度の発表は9テーマ。

2. 大学共同青年会議所主催ハッカソン「Yes!! 農業 match」マッチングシステムによる農業人材不足解消」を皮切りに、次々と発表が続いた。阿部部会長ら3人が研究内容や新規性、社会性、提案力、プレゼン能力の点から審査した。発表会は17日に開かれた。

最優秀賞の作品は「学生によるスマホ教室及（および、柏崎市AI新交通あいくるのPR活動」がテーマ。くらしのサポートセンターえきまえなどで「あいくる」の利用説明会を含めたスマホ教室の指導体験をもとに、地域包括ケアシステムとの関わりなど

9テーマの審査が行われた「柏崎に関する研究発表会」。最優秀賞に選ばれた学生のスマホ教室とあいくるの普及、地域福祉を考察した発表者＝柏崎商議所

を考察した。発表では、「大学生がより密接に地域住民とのつながりを得たことに加え、地域福祉の一翼を担う存在であることを意識できた」と述べた。今年4月から

「あいくる」の運行区域が拡大されることに触れ、「大学生が地域にとって果たせる役割は決して小さなものではない。地域のかげがえのない一員としての意識を絶やすことなく、主体的な活動を展開していきたい」とまとめた。

優秀賞は「AIの観点から見た柏崎市内における高校生の勉強場所の実態と



分析」（工科大工学4年・山口晴也さん）。会場で田辺裕治・工科大学長は「柏崎が住んでよし、学んでよし、働いて良しのまち」にしようという思いが全ての発表にあり、意気込みが感じられた、

阿部部会長と、最優秀賞の岸田さん（左）、佐藤さん（右）

いから何らかの形で現場で生かしてほしい」と感想を述べた。阿部部会長は「素晴らしい発表で、大変頼もしかった。次年度はさらにグレードを上げていきたい」と期待。中でも、最優秀賞の発表は社会課題をテーマにしたことや、柏崎の課題への着眼点、自己行動を起こした点を高く評価し「優しさ、思いやりを感じた」と話した。

梅比良眞史・産大学長は「研究をどう柏崎に生かしていくか。研究だけでなく、失敗しても

# 柏刈の卒業式シーズン

## 3月1日から 産附高皮切りに

柏刈刈羽のトップを切つて、産大附属高で3月1日、卒業式が行われる。県立高

校4校は3日。中学校は柏刈刈羽ともに公立高校入試後の7日、卒業生数は市内556人、村37人。小学校も柏刈刈羽は24日、市内574人、村38人が学びやを巣立つ。

開式日時は次の通り。

産大附属 1日午前10時  
▽柏高 3日午前10時▽  
常盤 3日午前10時▽  
柏崎総合 3日午前10時▽  
柏工 3日午前9時半▽  
新潟病院附属看護 3日午後1時半▽  
柏崎特別支援 4日午前10時▽  
市内と刈羽村の中学校 7日午前  
▽柏崎翔洋 14日午前9時半▽  
新潟産大 15日午前10時▽  
新潟工科大 19日午前10時（産文会館）▽  
はまなす特別支援 21日午前10時▽  
市内と刈羽村の小学校 24日午前

## 柏崎抄

▲あと1日で3月。1年間の活動の締めくくりの季節だ。その一つ、工科大産大生による「柏崎に関する研究」の発表会が先週、会場とオンラインのハイブリッド方式で行われた。学生たちが柏崎について考察したテーマは全部で9 ▲発表会は柏崎商工会議所総合建設部会が工科大の協力で1997年度から行っている建設技術研修会をきっかけに、2002年度から始まり、本年度で23回目。縁あって柏崎で暮らす学生たちが柏崎のまちづくり、活性化などを考えているのかなど興味を湧く ▲発表は2大学共同で取り組んだ『Yes!! 農 match』マッチングシステムによる農業人材不足解消から。柏崎刈羽の農業者と、農業に興味関心のある短期バイトをしたい学生を対象にしたマッチングアプリを提案した。後継者不足の高齢農家には救世主となるのだろうかと思いを聞かせてもらった

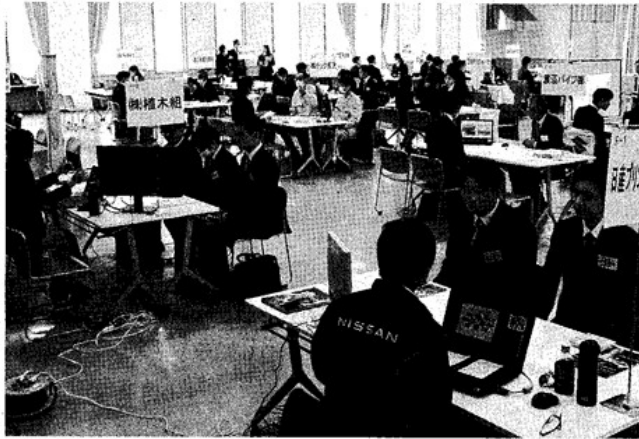
▲審査員3人が最優秀賞に選んだのは、「学生によるスマホ教室及（およ）び、柏崎市A1新交通『あいくる』のPR活動」。くらしのサポートセンターなどで、高齢者にスマホの使い方を教えた学生たちはやがて、「あいくる」の予約方法など利用説明へと活動幅を広げた ▲スマホ教室では、住民同士の積極的な社会参加を促し、それが介護予防にもつながった。人間関係が希薄になりつつある今、学生にとっても人々の結びつきがいかに重要かを体感できた。発表では「地域福祉の一翼を担う存在である」と意識できた」とも語った ▲発表した学生の一人は交通業界に入社し、もう一人は福祉の専門学校へ進む。それぞれの道は違っても、貴重な体験は、学生時代の学びは人生で必ず役に立つはずだ。リクルート姿の学生に頼もしさを感じながら聞き入った。 (田)

## 就活前に 企業研究

新潟産大

3月1日から本格的に就職活動が開始されるのを前に、新潟産大（梅比良眞史学長）は、3年生を対象に企業研究セミナーを産文会館で開いた。学外開催は3

県内外30社が参加した新潟産大の企業研究セミナー 産文会館



年目。約40人は13日、リクルートスーツに身を包み、企業ブースで業務内容などの説明を受けた。

参加企業は県内外の30社で、中には同大卒業生もいた。テック長沢の大島将斗さん（28）は2018年卒は技能検定マシニングセン

地元で貢献したいと思っ  
ている。地域に関われる仕事  
につきたい」。文化経済学  
科の加藤清正さんは「金属  
加工は専門外なのでどっや  
ってキャリアアップするの  
か興味があった」と話した。  
同大就職委員長の江口潜  
教授は「学生の多くは県内  
出身で地元志向が強い一方  
県外企業にも興味を示して  
いる学生もいる。就職活動  
は、学生にとって新たな出  
会いの場であり、これまで  
関心がなかった分野でも説  
明を聞くことで興味を持つ  
ことがある」と見守った。

タ2級を取得しており、  
「最初は分からないことば  
かりだったが、社内研修が  
しっかりしているので文系  
でも大丈夫」と歓迎した。  
4社を回った経済経営学  
科の栗林陽華さんは「いろ  
いろな業種があり、参加し  
て良かった。柏崎で育ち、